

2019 年度
公益社団法人 日本セラミックス協会 関西支部
支部大会（兼 第1回役員会）資料

開催日時 2019年4月24日（水） 15:00～15:50

場 所 メルパルク大阪（大阪市淀川区宮原4-2-1、TEL 06-6350-2111）

式 次 第

1. 開会の辞
 2. 審 議

第一号議案	平成30年度事業報告	資料1
第二号議案	平成30年度収支決算報告	資料2
	平成30年度会計監査報告	資料3
第三号議案	2019年度支部役員体制	資料4
第四号議案	支部運営規程の変更	資料5
 3. 報 告

	2019年度事業計画	資料6
	2019年度収支予算	資料7
	その他	資料8
 4. 閉会の辞
-

[平成30年度 支部推薦による協会賞受賞記念講演会] 16:00～17:40

講演：進歩賞 「ガラス形成酸化物融液のソレー効果に関する研究」

清水雅弘 様（京都大学）

講演：技術賞 「高信頼性強化板ガラス製造のためのインライン・連続式ソーク技術の開発と実用化」

酒井千尋 様（日本板硝子株式会社）

講演：技術賞 「金属酸化物微粒子による機能性光学材料の開発と実用化」

諏訪充史 様（東レ株式会社）

講演：学術賞 「全固体電池実現に資するアルカリイオン伝導体に関する研究」

林 晃敏 様（大阪府立大学）

[懇 親 会] 17:45～19:15 （メルパルク大阪4階 ラマージュ）

第一号議案：平成 30 年度事業報告

平成 30 年度 関西支部事業一覧
(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

会議名称	開催月日、回数等	内 容 等	開催場所
関西支部大会	2018 年 4 月 18 日 終了	平成 30 年度支部大会 支部推薦による協会賞受賞者の受賞講演会	メルパルク大阪
役員会 第 1 回 第 2 回	2018 年 4 月 18 日 終了 2019 年 1 月 28 日 終了	支部役員会	メルパルク大阪 メルパルク大阪
企画委員会	2018 年 4 月 18 日 終了 2018 年 7 月 27 日 終了 2018 年 9 月 11 日 終了 2018 年 12 月 3 日 終了 2019 年 1 月 28 日 終了 合計年 5 回	各種行事立案・開催打ち合わせ等	メルパルク大阪 姫路商工会議所 滋賀県工業技術総合センター 大阪大学 银杏会館 メルパルク大阪
協会賞推薦候補者 選考委員会 第 1 回 第 2 回	2018 年 6 月 13 日 終了 2018 年 6 月下旬 終了	支部推薦候補者選定	ムラタエレクトロニクス 西日本営業所 メール審議
役員選考委員会 第 1 回、第 2 回	2020 年 2 月 8 日、22 日	次年度支部役員等選考	メール審議

講演会・講習会・研究発表会等の開催実績

行事名称	開催期日	内 容 等	開催場所
第 13 回関西支部 学術講演会	2018 年 7 月 27 日	関西地区におけるセラミックス関連の学術研究発表および討論。 参加者数 132 名	姫路商工会議所 2 階大ホール・1 階展示場
技術研修会	2018 年 9 月 11 日	若手研究者向けの科学分析の測定原理の理解や計測トレーニングを含む研修会。 参加者数 55 名	滋賀県工業技術総合センター
第 21 回若手フォーラム	2018 年 10 月 25-26 日	若手研究者・技術者による自発的な研究討論会の場。 参加者数 71 名	アープしが（滋賀県青年会館）
CEPRO 関西	2018 年 10 月 6 日、12 月 8 日	セラミックス協会 CEPRO の関西地区での開催。 参加者数 72 名	龍谷大学大阪梅田キャンパス、関西大学梅田キャンパス
支部セミナー	2018 年 12 月 3 日	トピックステーマに関する研究・技術セミナー。 参加者数 73 名	大阪大学 银杏会館
特別講演会・新年会	2019 年 1 月 28 日	特別講演会および新年会 参加者数 45 名	メルパルク大阪

講演会・講習会・研究発表会等の開催実績詳細

第 13 回関西支部学術講演会 開催報告

日時 2018年7月27日(金) 9:45~18:30
 場所 姫路商工会議所 2階大ホール・1階展示場 (兵庫県姫路市下寺町 43)
 協賛 日本化学会, 応用物理学会, 粉体粉末冶金協会, 粉体工学会
 講演 (1) 協会賞受賞記念講演 1件
 「硫化物系電極活物質及び固体電解質における固体-固体界面構築に関する研究」
 作田 敦 先生 (大阪府立大学)
 (2) 招待講演 2件
 「印刷プロセスによる太陽電池の進展と太陽電池市場の現状」
 伊藤 省吾 先生 (兵庫県立大学)
 「放射光高エネルギーX線回折を利用した強誘電体の短距離~中距離レンジ構造の解明」
 米田 安宏 先生 (日本原子力研究開発機構)

(3) 一般講演 8件
 (4) ポスター講演 76件 (ポスターA: 66件, ポスターB: 10件)

参加人数 132名 (一般56名、学生74名、講師2名含む)
 概要 関西地区におけるセラミックス関連の学術研究発表および討論の場として、著名な研究者による最先端の招待講演をはじめ気鋭の若手による挑戦的な研究が発表され、活発な討論が行われた。研究育成を目指した学生発表も盛況であった。また、一般講演、学生によるポスター発表の中からそれぞれ、奨励賞(1件)、学生講演賞(5件)を表彰した。さらに、関東支部との交流企画として関東支部若手研究交流会への派遣の候補として3名を選出した

関西支部技術研修会 開催報告

日時 2018年9月11日(火) 13:00~17:10
 テーマ 知っておきたいXPS、XRDの基礎と応用
 場所 滋賀県工業技術総合センター 2階大研修室 (滋賀県栗東市上砥山232)
 講演 1. 開会の挨拶 (関西支部 安藤支部長)
 2. 「知っておきたいX線光電子分光法(XPS)の基礎と応用」
 アルバック・ファイ(株) 眞田 則明氏
 3. 「知っておきたいX線回折法(XRD)の基礎と応用」
 ブルカージャパン(株) 森岡 仁氏
 4. 装置・所内見学(XRD, XPS, ラマン分光、熱伝導測定装置)
 5. 閉会の挨拶 (工業技術センター 阿部所長)

参加人数 55名
 概要 研究現場で役立つ分析・評価技術について学ぶ技術研修会を開催した。今年度はX線光電子分光法(XPS)とX線回折法(XRD)について、初心者向けの基礎から実務者向けの応用例までの研修を行っていただいた。今年度も好評な企画で1か月前には予約で定員を越す応募となった。

第 21 回若手フォーラム 開催報告

- 日時 2018年10月25日(木)～26日(金)(1泊2日)
 テーマ セラミックスの構造制御による高機能化
 場所 アーブしが(滋賀県青年会館)(滋賀県大津市唐橋町23-3)
 協賛 日本化学会、日本材料学会関西支部、ニューセラミックス懇話会
 講演 (1)「配向連通気孔構造を有するセラミックス多孔体の人工骨への応用」
 堀田 裕司 先生 (株式会社クラレ)
 (2)「低次元ナノ構造デザインに基づくセラミックスの高次機能開拓」
 関野 徹 先生 (大阪大学)
 (3)「酸化物型全固体電池の研究開発」
 吉岡 充 先生 (株式会社村田製作所)
 (4)「新たなセラミックナノ構造電極材料による超高効率エネルギー変換次世代電池の研究」
 藤代 芳伸 先生 (産業技術総合研究所)
 (5)「無機複合ナノ構造の構築と機能—スポンジ結晶から複合光触媒まで」
 犬丸 啓 先生 (広島大学)
 日本セラミックス協会関東支部研究紹介:3件

参加人数 71名 (一般28名、学生38名、講師5名)

概要 関西支部に所属する若手研究者の勉強と交流を目的に、第一線でご活躍の方を産官学から講師としてお招きし、2日間にわたってフォーラムを開催した。プログラムとして、基礎研究から応用まで最新の話題提供をもとにさまざまな取り組みを講師の先生方からご紹介いただき、大学・公的研究機関・民間企業の方々との討論を通して交流を行い、また、関東支部から参加した3名にも研究紹介をしていただき、支部間での交流も深めた。

CEPRO 関西開催報告

- 日時 2018年10月6日(土)、12月8日(土)13:30～17:00
 場所 龍谷大学大阪梅田キャンパス 10月6日(土)
 関西大学梅田キャンパス 12月8日(土)
 主催 日本セラミックス協会教育委員会、日本セラミックス協会関西支部
 共催 関西大学 化学・物質工学科
 協賛 日本化学会、日本物理学会、応用物理学会、日本金属学会、日本機械学会、化学情報協会
 講演 2018年10月6日(土)
 (1)「セラミックスの導電性」講師:本橋 輝樹 先生(神奈川大学)
 (2)「セラミックスの結晶化学」講師:門馬 綱一 先生(国立科学博物館)
 (3)「セラミックスの成形と焼結」講師:篠原 伸広 先生(AGC(株))
 2018年12月8日(土)
 (4)「液相からのセラミックス合成」講師:藤原 忍 先生(慶應義塾大学)
 (5)「セラミックスの状態図と熱力学」講師:南口 誠 先生(長岡技術科学大学)
 (6)「セラミックス微粉末の合成」講師:富田 恒之 先生(東海大学)

参加人数 72名(学生21名 一般51名)

概要 セラミックス協会では、[Ceramics Education Program for Beginners : 通称 CEPRO (セプロ)]を、東京都内の大学を会場として開催してきました。今回、首都圏以外の方にも CEPRO に参加していただけるよう、The American Ceramics Society の Ceramic and Glass Industry Foundation(CGIF)から助成のもと、関西地区で開催することとなった。講義は、6回分(2日間)で、それぞれの分野での豊富な経験を持つ大学教員、企業の研究員や開発担当者を講師としてお招きし、セラミックス化学の基礎、作り方の基礎とノウハウ、物性の測定と考え方などについて、詳細なテキストを使って解説していただきました。併せて、継続的に学習できるよう参考となる文献、教科書、学習方法についても紹介していただきました。特に、今回は学生の方でも気軽に参加できるように格安の参加費を設定しました。

関西支部セミナー 開催報告

- 日時 2018年12月3日(月) 10:00~16:45
 テーマ 組成・構造制御によるセラミックス材料の革新的物性発現
 場所 大阪大学 銀杏会館 阪急電鉄・三和銀行ホール
 (吹田キャンパス:大阪モノレール「阪大病院前」徒歩5分)
 協賛 日本化学会、電気化学会、高分子学会、応用物理学会、粉体粉末冶金協会、日本希土類学会
 講演
- (1) 「層状ペロブスカイトエンジニアリング:新規強誘電体・圧電体の開拓」
藤田 晃司 先生 (京都大学)
 - (2) 「酸化物半導体ガスセンサの材料設計 -どこまで性能を引き出せるか」
島ノ江 憲剛 先生 (九州大学)
 - (3) 「ビッグデータ・IoT 時代を支えるバリウムフェライト磁性体を用いた大容量磁気テープの開発」
野口 仁 先生 (富士フイルム株式会社)
 - (4) 「半導体光触媒可視光応答化を制御する添加窒素化学状態」
吉田 朋子 先生 (大阪市立大学)
 - (5) 「ガラス系イオニクス材料を用いた全固体リチウム電池の開発」
辰巳砂 昌弘 先生 (大阪府立大学)

参加人数 73名(講師5名含む)

概要 今年度は、「組成・構造制御によるセラミックス材料の革新的物性発現」というテーマで、セラミックスに関する研究や、産業界での技術開発における第一人者の先生方より示唆に富んだ貴重なご講演を頂いた。

新年特別講演会

- 日時 2019年1月28日(月) 16:00~17:00
 場所 メルパルク大阪(大阪市淀川区宮原4-2-1)
 講演 「ガラス繊維との出会い」
有岡 雅行 先生
日本電気硝子株式会社 取締役会長

参加人数 45名

概要 平成30年度の特別講演会は、「ガラス繊維との出会い」とのテーマで、示唆に富んだお話を頂いた。

第二号議案：平成 30 年度収支決算報告

平成30年度収支決算報告

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	予算	実際	
① 受取会費	925,000	912,500	29社
	(120,000)	(120,000)	特級会員会費 (2/2社)
	(225,000)	(225,000)	1級会員会費 (5/5社)
	(105,000)	(105,000)	2級会員会費 (3/3社)
	(475,000)	(462,500)	3級会員会費 (19/19社)
② 事業収益	1,800,000	2,223,000	
研究発表事業収入	550,000	541,000	学術講演会
講演会講習会事業収入	1,250,000	1,682,000	
	(200,000)	(152,000)	協会賞受賞記念講演会
	(0)	(0)	技術研修会
	(-)	(348,000)	CEPRO 関西
	(450,000)	(606,000)	若手フォーラム
	(400,000)	(384,000)	支部セミナー
	(200,000)	(192,000)	新年特別講演会
③ 雑収益	100	17	利息
④ 受取補助金	0	0	
⑤ 他会計からの収益	420,000	420,000	本部からの配布金
経常収益計	3,145,100	3,555,517	
(2) 経常費用			
① 事業費	3,000,000	2,985,015	
研究発表事業費	650,000	792,397	学術講演会
講演会講習会事業費	2,200,000	2,089,914	
	(550,000)	(505,497)	協会賞受賞記念講演会
	(50,000)	(11,216)	技術研修会
	(-)	(756)	CEPRO 関西
	(600,000)	(786,250)	若手フォーラム
	(500,000)	(325,585)	支部セミナー
	(500,000)	(460,610)	新年特別講演会
表彰事業費	150,000	102,704	交通費および雑費
② 管理費	275,000	165,508	
	(50,000)	(0)	事務員費 (事務業務費)
	(15,000)	(13,392)	支部大会費 (通信費のみ)
	(15,000)	(13,598)	役員会費 (通信費のみ)
	(150,000)	(129,430)	各種委員会費
	(5,000)	(8,578)	通信費 (支部大会・役員会を除く)
	(40,000)	(510)	雑費、消耗品費
経常費用計	3,275,000	3,150,523	
前年度からの繰越		2,075,763	
残高		2,480,757	

平成30年度 会計監査報告

監査報告書

平成31年4月10日

公益社団法人日本セラミックス協会
関西支部長

安藤 陽 様

関西支部 監事

中島 靖

長谷川 真也

この度、監事による監査を実施したので、その結果について下記の通り報告します。

記

1. 監査実施日 平成31年4月10日
2. 監査結果
監査対象期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日まで

監査の概要

帳簿、証憑類、通帳、現金保有証明書等の閲覧を行い、収支決算書の正確性を検討した結果、貸借対照表・正味財産増減計算書は帳簿の記載内容と一致しており、本支部の財産状況及び収支状況を正しく示していると認めます。

以上

第三号議案：2019 年度 支部役員体制

I. 2019 年度支部役員の選任

	2019 年度 (新任)	平成 30 年度 (退任)
支部長		
副支部長 (企画委員長)		
副支部長		
事務局 (総務)		
事務局 (企画)		
事務局 (会計)		
支部監事		
支部監事		
顧問		
顧問		
役員候補選考委員会並びに代議員候補選考委員会	田中勝久 (京都大学)	
学協会賞候補選考委員会		
企画委員会	作田敦 (大阪府立大学)	林晃敏 (大阪府立大学)
	山中重宜 (大研化学工業(株))	渡邊静晴 (大研化学製造販売(株))
	木戸場潤 (堺化学工業(株))	寺部敦樹 (堺化学工業(株))
	三井博子 (東レ(株))	谷野貴広 (東レ(株))
	山本博章 (日本板硝子(株))	新居田治樹 (日本板硝子(株))
	岡 研吾 (近畿大学)	山本隆文 (京都大学)
本部 行事企画委員会	角野広平 (京都工芸繊維大学)	幸塚広光 (関西大学)
一般役員	作田 敦 (大阪府立大学)	中西和樹 (京都大学)
	山中重宜 (大研化学工業(株))	渡邊静晴 (大研化学製造販売(株))
	木戸場潤 (堺化学工業(株))	寺部敦樹 (堺化学工業(株))
	三井博子 (東レ(株))	谷野貴広 (東レ(株))
	山本博章 (日本板硝子(株))	新居田治樹 (日本板硝子(株))
	岡 研吾 (近畿大学)	山本隆文 (京都大学)
		横川善之 (大阪市立大学)
		大柳満之 (龍谷大学)
	武田真一 (武田コロイドテクノ・コンサルティング(株))	

以上により、現在の支部役員：77名、会友：16名。

Ⅱ. 2019 年度 役員・委員体制

1-2. 2019 年度 役員・委員体制

支 部 長	安藤 陽	(株)村田製作所
副支部長 (企画委員長)	幸塚広光	(関西大学)
副支部長	服部明彦	(日本板硝子株)
事務局 (総務担当)	細倉 匡	(株)村田製作所
事務局 (企画担当)	内山弘章	(関西大学)

顧問	加賀田博司	(京都大学)
顧問	辰巳砂昌弘	(大阪府立大学)
支部監事	中島 靖	(第一稀元素化学工業株)
支部監事	長谷川真也	(パナソニック株)

企画委員 (29 名)

氏 名	所 属	就任	備 考
安藤 陽	(株)村田製作所	2009. 4	支部長 留任
幸塚広光	関西大学	2016. 4	副支部長・企画委員長 留任
服部明彦	日本板硝子株	2018. 4	副支部長 留任
細倉 匡	(株)村田製作所	2015. 4	事務局 総務・会計 留任
内山弘章	関西大学	2016. 4	企画委員会事務局 留任
青井芳史	龍谷大学	2012. 4	留任
安達智彦	滋賀県工業技術総合センター	2016. 4	留任
岩田正和	日本電気硝子株	2018. 4	留任
菊池文幸	兵庫県立大学	2007. 4	留任
北村直之	産業技術総合研究所	2013. 4	留任
久保 敬	パナソニック株	2014. 4	留任
後藤知代	大阪大学	2017. 4	留任
塩見治久	京都工芸繊維大学	2012. 4	留任
高石大吾	京都市産業技術研究所	2013. 4	留任
高山卓也	日本山村硝子株	2017. 4	留任
三井博子	東レ株	2019. 4	新任
田村真治	大阪大学	2017. 4	留任
木戸場潤	堺化学工業株	2019. 4	新任
徳田陽明	滋賀大学	2014. 4	留任
徳留靖明	大阪府立大学	2018. 4	留任
中谷正則	(株)ニッカトー	2017. 4	留任
山本博章	日本板硝子株	2019. 4	新任
作田 敦	大阪府立大学	2019. 4	新任
細川三郎	京都大学	2014. 4	留任
村井俊介	京都大学	2014. 4	留任
山本浩司	京セラ株	2018. 4	留任
岡 研吾	近畿大学	2019. 4	新任
山本真理	大阪産業技術研究所	2017. 4	留任
山中重宜	大研化学工業株	2019. 4	新任

役員候補選考委員会並びに代議員候補選考委員会委員名簿 (12名) (○:委員長)

☆ (10名以上)

氏名	所属	就任	
○安藤 陽	(株)村田製作所	2016	留任
細倉 匡	(株)村田製作所	2018	留任
幸塚広光	関西大学	2005	留任
今中信人	大阪大学	2006	留任
大西宏司	(株)ニッカトー	2006	留任
加賀田博司	京都大学	2010	留任
角野広平	京都工芸繊維大学	2006	留任
辰巳砂昌弘	大阪府立大学	2004	留任
高橋雅也	大阪産業技術研究所	2015	留任
服部明彦	日本板硝子(株)	2010	留任
町田憲一	大阪大学	2008	留任
田中勝久	京都大学	2019	新任

協会賞候補選考委員会委員名簿 (12名) (○:委員長)

氏名	所属	就任	
○安藤 陽	(株)村田製作所	2016	留任
細倉 匡	(株)村田製作所	2018	留任
幸塚広光	関西大学	2005	留任
内野隆司	神戸大学	2010	留任
大川 隆	大研化学工業(株)	2018	留任
加賀田博司	京都大学	2010	留任
角野広平	京都工芸繊維大学	2006	留任
辰巳砂昌弘	大阪府立大学	2004	留任
高橋雅也	大阪産業技術研究所	2015	留任
田中勝久	京都大学	2018	留任
服部明彦	日本板硝子(株)	2018	留任
町田憲一	大阪大学	2008	留任

本部委員 (支部より推薦)

本部 行事企画委員会委員	角野広平 (京都工芸繊維大学)	2019	新任
--------------	-----------------	------	----

第四号議案：支部運営規程の変更

支部運営規程の上位規定の支部通則 第2章 第3条 第2項「支部長及び支部監事は理事会の承認を得るものとする。」に合わせるために、支部運営規程を以下の通り変更する。

変更箇所	変更前	変更後
第5条2項	支部長は協会会長が委嘱する。	支部長、 <u>支部監事</u> は協会会長が委嘱する。
第5条3項	支部長以外の支部役員は支部長が委嘱する。	支部長、 <u>支部監事</u> 以外の支部役員は支部長が委嘱する。

2019年度 事業計画

(2019年4月1日～2020年3月31日)

1) 会議開催予定 (委員会、役員会等)

会議名称	開催月日、回数等	内容等	開催場所
関西支部大会	2019年4月24日 予定	2019年度支部大会 支部推薦による協会賞受賞者の受賞講演会	メルパルク大阪
役員会 第1回 第2回	2019年4月24日 予定 2020年1月 予定	支部役員会	メルパルク大阪 メルパルク大阪
企画委員会 第1回 第2回～第5回	2019年4月24日 予定 未定 合計年5回程度 予定	各種行事立案・開催打ち合わせ等	メルパルク大阪 未定
協会賞推薦候補者 選考委員会 第1回、第2回	2019年5月、6月 予定	支部推薦候補者選定	未定
役員選考委員会 第1回、第2回	2020年2月、3月 予定	次年度支部役員等選考	未定

2) 行事開催予定 (講演会・講習会・研究発表会等)

行事名称	開催期日	内容等	開催場所
第13回関西支部 学術講演会	2019年7月10日 予定	関西支部に関連する企業、公的機関、大学による学術講演会。招待講演、一般口頭発表、ポスター発表からなる。特に、ポスター発表は、大学・企業の若手研究者・技術者の研鑽の場とする。	京都工芸繊維大学
技術研修会	2019年9月 予定	関西支部に関連する企業（とりわけ中小企業）、大学、公的機関の研究者、技術者を対象とした技術研修（見学会も含む）と講演会、及び、相互交流を通して、研究開発の支援、活性化を図る。	未定
第22回若手フォーラム	2019年10月17, 18日 予定	若手研究者・技術者による自発的な研究討論会を支援する。	ホテルフクラシア大阪ベイ
支部セミナー	2019年12月 予定	トピックステーマに関する研究・技術セミナーを行い、産学官の交流を図る。	未定
特別講演会・新年会	2020年1月 予定	特別講演（1名）および支部会員新年会	メルパルク大阪

2019年度収支予算（本年2月に本部へ報告した内容）

（2019年4月1日～2020年3月31日まで）

1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	900,000		28社
		120,000	特級会員会費（2社）
		225,000	1級会員会費（5社）
		105,000	2級会員会費（3社）
		450,000	3級会員会費（18社）
② 事業収益	1,900,000		
研究発表事業収入	550,000	550,000	学術講演会
講演会講習会事業収入	1,350,000		
		250,000	協会賞記念講演会
		0	技術研修会
		450,000	若手フォーラム
		400,000	支部セミナー
		250,000	新年特別講演会
③ 雑収益	100		利息
④ 受取補助金	0		
⑤ 他会計からの収益	420,000		
経常収益計	3,220,100		
(2) 経常費用			
① 事業費	3,000,000		
研究発表事業費	650,000	650,000	学術講演会
講演会講習会事業費	2,200,000		
		550,000	協会賞受賞記念講演会
		50,000	技術研修会
		600,000	若手フォーラム
		500,000	支部セミナー
		500,000	新年特別講演会
表彰事業費	150,000		
② 管理費	220,000		
		20,000	事務員費（事務業務費）
		80,000	交通費（各種委員会など）
		40,000	通信費（支部大会・役員会など）
		80,000	雑費、消耗品費
経常費用計	3,220,000		
前年度からの繰越	2,480,757		
残高	2,480,857		

報告事項

1. 関西支部推薦によるセラミックス協会賞受賞者

平成 30 年 6 月 13 日開催の協会賞推薦候補者選考委員会およびその後の同メール会議により、関西支部より候補者を推薦した結果、理事会において以下の日本セラミックス協会賞の受賞と名誉会員推戴の推薦が決定した。

平成 30 年度日本セラミックス協会賞 支部推薦受賞者

賞	受賞者	所属	表題
学術賞	林 晃敏	大阪府立大学	全固体電池実現に資するアルカリイオン伝導体に関する研究
進歩賞	清水雅弘	京都大学	ガラス形成酸化物融液のソレー効果に関する研究
技術賞	酒井千尋	日本板硝子株式会社	高信頼性強化板ガラス製造のためのインライン・連続式ソーク技術の開発と実用化
技術賞	諏訪充史 日比野利保 的羽良典 内田圭一	東レ株式会社	金属酸化物微粒子による機能性光学材料の開発と実用化

平成 30 年度日本セラミックス協会賞 功労賞受賞者

受賞者	所属
新田恒治	パナソニック株式会社

日本セラミックス協会 名誉会員推戴推薦者

名誉会員推戴者	所属
大田陸夫	元・京都工芸繊維大学
南 努	元・大阪府立大学

2. 会議等の協賛

下記の会議等について関西支部への協賛依頼があり、承諾した。

依頼内容	会議名	主催
協賛	第 13 回若手シンポジウム ～材料分野の仕事と研究の魅力伝承～ (H30. 12. 1)	日本材料学会関西支部
協賛	「初心者のための無機材料分析・評価技術実習セミナー」－製品開発や品質管理に役立つ基礎的知識の習得－ (H30. 7. 11-12)	大阪産業技術研究所 森ノ宮センター
協賛	第 46 回ニューセラミックスセミナー 「IoT」の現状と展望」 (H31. 2. 26)	ニューセラミックス懇話会
協賛	講習会「破壊力学の基礎と最新応用」	日本材料学会関西支部